



<http://www.jaaso.or.jp/>

JAあそだより

令和2年1月

謹んで初春のお慶びを
申し上げます



「阿蘇のあか牛」(撮影: 笹原 祥樹)

■今号16ページ 主な内容

- 新年のご挨拶 JA阿蘇組合長 原山 寅雄
- JA阿蘇、熊本県と大規模震災時の拠点協定を結ぶ
- 特定技能外国人の宿舍完成/まるごと阿蘇ウォーキング2019開催
- 生産各部会の生育・出荷などの動き
- 「イラスト違い」正解者に抽選でプレゼント!etc.

今号も話題と情報を満載!!



2020
新年

VOL.108



▲ 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088

令和2年(2020年)新年のご挨拶



『一步踏み出す』農業と地域に しっかりと貢献できる農業協同組合を 目指してまいります



阿蘇農業協同組合
代表理事組合長 原山 寅雄

新年、明けましておめでとうございます。

皆様には輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。当組合の事業運営につきましては、日頃から格別なるご協力とご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は元号が「令和」に改元したこと、また消費増税、働き方改革など大きな変革の年となりました。

阿蘇管内を振り返ってみますと、台風等の大きな自然災害はなかったものの、阿蘇山の小規模噴火が相次ぎ、現在も降灰が長く続いている状況です。管内農家や農協としても降灰対策や施設管理、品質管理等に苦慮しながら生産に努めています。そのような現況を打開すべく、当組合では今までより『一步踏み出す』行動を実施してきました。

生産・選果現場作業の恒常的な人員確保を実現する為、20名生活可能な特定技能外国人宿舎を建設する事により、生産者には農作業に専念して頂ける環境を作りました。また、生産者所得向上を目指すと共に将来生産者の生産意欲を図るため、JA阿蘇令和元年度産米の米穀販売事業方針を従来の「経済連共計」より「直売委託」へ移行致しました。今後もJAとしてすべき事をしっかりと見つめ、色々な取り組みを進めて参ります。

農業情勢では、ドローン、無人ロボット等を活用するなど企業経営や技術革新、生産性向上のみに目を向けた政策が目立ち、労働力不足対策として期待される「スマート農業」が新たに重点事項の柱とされています。また、TPP等の経済連携の進展を受けて、農業経営環境整備のため農業競争力強化支援法が制定されました。当組合としても、品目別販売戦略を実践し、青果物コントロールセンター機能を活用した販売体制の確立と効果的な情報発信による阿蘇ブランドの認知度向上を図り、安全安心な地元農畜産物の魅力をしっかりと伝えます。またコンプライアンス（法令遵守）態勢のより一層の強化に努め、職場環境及び職員教育に全力で取り組んでおります。

併せまして、2019年度から新たな「JA阿蘇総合3ヶ年計画（令和元年～3年）」を策定いたしました。「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」に継続して取り組み、これからも、農業と地域にしっかりと貢献できる農業協同組合を目指してまいります。

結びに、迎えた本年が皆様にとって一層、明るく輝かしい年でありますことをご祈念申し上げ、年頭の挨拶と致します。





**JA阿蘇、熊本県と協定結ぶ
大規模災害時の救援物資集積・輸送拠点に
「中部野菜選果場」と「南部野菜センター」**



J A阿蘇と熊本県は、大規模災害時に倉庫や選果場などが救援物資の集積・輸送拠点となる協定を11月13日に結びました。

熊本県では熊本地震が発生するまで唯一の広域防災活動拠点だった益城町のグランメッセ熊本が、地震で被災して機能不全に陥ったことから、県内のJ Aなど9社・団体の11施設を新たに救援物資集積・輸送施設に追加して、災害時の新たな拠点としました。

熊本県庁で行われた締結式で蒲島郁夫県知事は「(この協定により)物資輸送について円滑な対応が可能と

なり、体制強化が図られる」と述べました。

同協定によって大規模災害時には、J A阿蘇の「中部野菜選果場」と「南部野菜センター」の2施設が、災害の発生場所にに応じて飲料水や食料など救援物資の集積・輸送拠点となります。

協定はJ A阿蘇をはじめ、J A鹿本・J Aあしきた・山田青果卸売市場(熊本市)・松橋中央青果(宇城市)・天草漁業協同組合(天草市)などとも結ばれました。

(写真右側協定を結んだ原山寅雄組合長と蒲島知事及び関係者)

**J A阿蘇と包括連携協定の
大分大山町農協「木の花ガールテン」
設立30周年記念式典を開催**



が出席。設立30周年記念式典は盛大に行われました。

J A阿蘇は2018年10月、大分大山町農協と包括連携協定を結んでおり、お互いのJ Aの長所を生かした販売を行ってきました。小国郷朝どり市での野菜販売をはじめ、阿蘇管内のトマト、キャベツ等の野菜が日々出荷されています。

記念式典では、原山組合長がJ A阿蘇の近況を報告し、続いてJ A阿蘇と大分大山農協との目標必達に向けて、がんばろう三唱を力強く行いました。

これから冬季シーズンにかけて、J A阿蘇産のいちごが福岡・大分の木の花ガールテン各店舗へ向けて出荷が始まります。(写真上側設立30周年記念式典で祝辞を述べる原山組合長)

11月10日、大分大山町農協(矢羽田正豪組合長)「木の花ガールテン」設立30周年を祝う記念式典が執り行われ、J A阿蘇からも原山寅雄組合長以下営農部6人の職員が出席しました。
式典には広瀬勝貞大分知事や原田啓介日田市長ら多くの来賓や関係者





地震からの復興と 人材確保の架け橋へ！ 特定技能外国人の宿舎完成



落成式で玉串奉納を行う原山組合長

J A阿蘇は10月7日、阿蘇市で特定技能外国人宿舎の落成式を行いました。落成した宿舎は10月から受け入れる外国人のための施設で、宿舎は熊本地震で被災した車輛センターを改築して工事が行われました。

宿舎は2階建の延床面積384㎡で、特定技能外国人と通訳を含む20人が生活することができます。

部屋は21㎡が5部屋で、他にシャワー室・食堂・炊事場・トイレ・洗濯室・駐車場があり、2階には多目的室等が完備されており、安心した生活を送るこ

とができる造りとなっています。

総工費は2376万円で、費用の一部には農林中央金庫の熊本地域復興支援事業が活用されています。

外国人の人材確保のために、既に帰国した技能実習生の再来日などを働きかけ、登録支援機関のJ A熊本中央会を通じて各種手続きを行い、J Aの担当者が労働者の生活支援を行い、人材不足が深刻な生産 選果現場の作業に従事してもらう予定です。

J A阿蘇は10月から5人を受け入れ、初年度は計16人を受け入れます。

落成式には、行政やJ Aグループの関係者ら約40人が出席。式典では宿舎建設に至る経緯や今後の外国人労働力の活用報告なども行われました。

原山寅雄組合長は祝辞で「熊本地震による国道57号線や幹線道路の遮断が阿蘇地域において人材不足を招いている。アスパラ選果のピーク時期においては、部会員をはじめJ A阿蘇の役員も総出で選果作業を行っていた。だが、いつまでも現状に甘えている訳にもいかず、特定技能実習生を受け入れられるというところで、この宿舎の建設に至った。選果人員が増えることにより、生産者には農作業に専念していただける。この施設が農家所得の増大に向けて、これからのJ Aに必要なところであり、阿蘇地域農業または熊本県農業の



食堂を見学する各生産部会の関係者

発展に繋がっていくと確信している」と抱負を語りました。

阿蘇地域は2016年の熊本地震でインフラに甚大な被害を受け、阿蘇地域へのアクセス悪化に加えて復興に向けた建設ラッシュの影響で、震災後の人材確保は困難を極めています。特に選果場の人手不足は深刻で、組合長・職員

に加え、生産者自身が選果作業を行う状況であり、関係者の疲弊は計り知れないものがありました。

営農部の齊藤課長は「宿舎の完成で受け入れ体制は整った。特定技能外国人は通算で5年間在留可能であり、恒常的な人材確保が期待できる」と話していました。



落成式神事の様子





写真はいずれも宿舎内の設備

※前ページより続く

阿蘇の風景を存分に満喫 まるごと阿蘇ウォーキング2019

JAの「健康寿命100歳プロジェクト運動」を実践



雄大な阿蘇を満喫しながら今回も盛り上がった
「まるごと阿蘇ウォーキング」

JA阿蘇は10月19日、阿蘇市で「まるごと阿蘇ウォーキング2019」を開催し、親子・家族・友人など一緒にウォーキングを楽しもうと約100人が参加しました。ウォーキングコースはJA直売所の四季彩いちのみやを出発し、中通古墳群入口、JA中部野菜選果施設、門前町商店街、阿蘇神社を通る阿蘇の風景を存分に満喫できるコースです。スタート時はあいにく小雨が降る中での始まりとなりましたが、折り返し地点の世界農業遺産フェア・秋の収穫感謝祭会場に着く頃には雨も止み、歩きやすい天候に好転しました。

参加者からは「楽しかった。また来年もぜひ参加したい」と嬉しい声があがっていました。

当日は抽選会も行われ、一層の盛り上がりを見せていました。



生産各部会の生育・出荷・反省会・査定会・総会などの情報

いちご出荷開始
目標190万パック
JA阿蘇いちご部会

優位販売を目指し
攻めの販売をした
い」と意気込みを
語っています。
出摘期は11月中
旬頃から最盛期
は3月中旬頃を予
定しています。(写
真＝品質検査を行う
岩下愛広職員)

JA阿蘇管内では2019年産いちごの出荷が、10月28日より始まりました。

当日持ち込まれた品種は「さがほのか」と「恋みのり」の2品種で、九州管内や関東・関西地区をメインに出荷されます。

本年産のJA阿蘇いちご部会生産者数は44戸(前年実績比102%)、面積11.3ha(同103%)で、増加傾向にあります。

品種の増減は、さがほのか(同101%)、ゆうべに(同87%)、恋みのり(同112%)となっており、目標出荷量190万パック(同106%)を計画しています。

本年産は定植期より気象条件に恵まれ、順調な着果を見せており年内数量は増収の見込みです。

岩下愛広販売担当職員は「品質を重点に考え、需要に応じた供給計画での

いちご部会「出荷査定会」
部会独自のアイテム増やし
更なる販売強化を狙う

いちご部会は2019年産出荷査定会を11月8日、阿蘇市で開催し生産者や行政・JA・市場関係者など約80人が参加しました。

大津部会長は冒頭挨拶で「農業情勢が全国的に厳しい環境の中、無事に出荷が迎えられた。生産者・関係機関一丸となり品質アップ・生産量アップに向け安定供給を目指したい」と熱く語りました。

本年産の出荷は10月28日より始まり、昨年に比べ2日早い出荷となっています。販売アイテムも小売店や量販店の消費動向を狙い、JA阿蘇いちご部会独自のアイテムを増やし更なる販売強化を狙う計画です。



写真右＝出荷査定会で挨拶をする大津部会長、写真上＝出荷アイテムの見本

営農部園芸課の江藤秀晃指導員は、「育苗後半の日照不足により生育停滞が懸念されたが例年通りの定植ができた。今後も連続出雷しており、年内の安定供給に繋げたい」と意気込みを語っていました。

JA各部署間の連携強化で
生産者と繋がる「旬」な情報を

アスパラ部会で商品説明をする職員

JA阿蘇では組織内の部署間による連携強化に取り組んでおり、その一環としてJAアスパラ部会の栽培管理講習会で、共済部と連携し商品説明を行う時間を設けました。

このような取り組みを行うことで、より正確で、より生産者のためになる旬な情報が届けられるのではないかとその効果が期待されています。

一方、アスパラ部会でも過去にも共済部や金融部と連携して、営農担当職員では分からなかった分野の情報や知識などを得ており、各部署の職員がそれぞれの専門的な知識や技能で補完しあう形となっています。

生産各部会の生育・出荷・反省会・査定会・総会などの情報

※前ページより続く

10月30日行われたアスパラ部会南部地区での栽培講習会では、地区担当のライフアドバイザー3人が出席し、「農機具向け自動車共済の案内」として商品説明をしました。

説明を聞いた生産者からは「これまで仕組みや内容のことが今一つ理解できていなかったため、今回、話を聞けて良かった」などの声が聞かれました。

地区別小規模講習会で 来春に向けた栽培管理を確認 JA阿蘇アスパラ部会

JA阿蘇アスパラ部会では、来春に向けた秋冬期の栽培管理講習会を11月1日から3日間にわたって管内地区ごとに実施しました。



当日説明した南部地区Aブロックチーフの長野淑美職員も「生産者と繋がる新たな機会づくりになって良かった」と感想を述べ、部会担当の後藤真智職員は「総合事業の組織だからこそできるヨコの連携だと感じている。タテの連携も大事だが、部署間によるヨコの連携をさらに強めることが生産者のためになる」と語っていました。

アスパラ部会のハウスは山間部から平坦部まで点在しているため、同部会では地区ごとに栽培講習会を開き、その地区に沿った栽培指導を実施して、立茎時期と秋冬期及び土壌分析説明会を行っています。

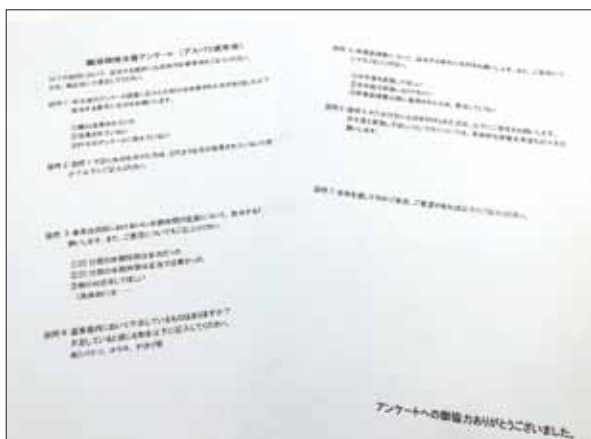
今回の講習会では「秋冬期における管理作業や養分転流促進について」と

題し、阿蘇地域振興局農業普及・振興課の舩本将明技師が資料を使いながら説明をしました。

参加した生産者からは、養分転流時における効果的な施肥方法や、今後の病害虫防除について質問があがった。

「より良い働く場づくり」を 職場環境改善のアンケート実施

JA阿蘇アスパラ選果場では、職場環境改善を目的としたアンケート調査を11月1日実施しました。



このアンケート調査は今年で2回目です。担当する職員が独自に考え、「今以上に働きやすい環境を作る」との第一歩として、選果作業員を対象に行っています。

アンケート用紙には、意見を書きやすくするために無記名で記入してもらい、作業において不足している備品や改善して欲しい点などを記述する形となっています。

昨年実施のアンケートでは県内の他JAアスパラ選果場の視察要望があがったこともあり、春芽から夏芽へ切り替わる時期に2班に分けて視察研修を行いました。

指導販売係の後藤真智職員は「作業員の確保が年々厳しい状況下において、少しずつでも作業環境を改善していくことで、新たな作業員の確保に繋がるようにしていきたい」と話し、今後もアンケート調査を続け「作業員の方々が『働きやすい』と実感できる職場環境づくりに役立てていきたい」と抱負を語っていました。(写真上)今年度実施されたアンケートの調査内容



参加した生産者からは、養分転流時における効果的な施肥方法や、今後の病害虫防除について質問があがった。

指導販売係の後藤真智職員は「これからの作業が来年の春芽に影響する。例年と同じ管理をすれば同じ結果にしかならないので、今一度管理作業を見つめ直して取り組んでほしい」と生産者に訴えていました。

同部会の2019年産出荷は10月末で終了しており、生産者からは来春使用する堆肥作りや黄化前の病害虫防除を年末に向けて行う予定です。(写真)説明する阿蘇地域振興局の舩本技師

生産各部会の生育・出荷・反省会・査定会・総会などの情報

秋冬だいこん、出荷本格化！
福岡中心に熊本・長崎青果市場へ
小国郷大根部会



九州でも有数の秋冬大根産地として知られるJA阿蘇小国郷管内では11月初旬、出荷が本格化しています。

主な品種は「秋の翼」で、連日約2000ケース（1箱13kg）が小国郷野菜集荷場に持ち込まれ、福岡県を中心に熊本・長崎県の青果市場に出荷されています。

今年の大根は8月中旬から月末にかけて長雨の影響で作付けが出来ず、9月に入ってから本格的な作付けが行われました。そのため出荷の最盛期が例年より2週間ほど遅れて訪れました。

9月以降の定植後、干ばつ等の影響が多少ありましたが、その後、大きな災害もなく順調に生育しました。部会では今までの遅れを取り戻そうと一丸となって出荷に取り組んでいます。

小国郷大根部会の明里忠行さんは「品質良好で秀品率の高い品物が出来



ている。今季も消費者に安全安心なものが届けられる」と笑顔で話していました。

販売担当の波多野勝郎職員も「今の時期の大根はみずみずしくておいしいので、今しか味わえない大根を消費者皆さんに食べて頂きたい」と、PRしていました。

今季、出荷数量は21万ケース（前年比93%）、販売金額は1億9千万円（同87%）が見込まれています。



大根の選別や出荷作業に追われる明里さん一家（11月7日撮影）



今後の出荷状況について意見を交わす明里さんと波多野職員



生産各部会の生育・出荷・反省会・査定会・総会などの情報

生椎茸の本格的出荷の前に
選別講習及び目慣らし会開く

J A阿蘇蘇陽集荷場



出荷規格等の説明をする職員

J A阿蘇蘇陽集荷場では11月9日、生椎茸の出荷が本格的に始まるのを前に選別講習及び目慣らし会が開かれました。蘇陽地区では阿蘇の気候を生かして生椎茸の原木栽培に取り組んでおり、市場からも肉厚で美味しいと高い評価を得ています。

当日は生産者ら約30人が出席。始めに長谷野正徳部会長が「品質の安定を第一に考え、正確な情報共有をすることと、安定出荷に向けた取り組み等を生産者が一丸となってやっていきましよう」と挨拶しました。

現在、同地区の出荷日量は200〇

400ケース(1ケース1kg)程度となっており、例年と比べて出荷数量が少なくなっています。

販売担当の甲斐亮太職員は「10月の少雨が影響し数量が伸び悩んでいるが、肉厚と味は他産地に負けない自信を持つている」と話していました。

新年度に向けて新品種説明会と
品質向上の研修会を行う

トルコギキョウ生産者

J A阿蘇営農部園芸課は11月22日、管内のトルコギキョウ生産者を集ってもらい、2020年度産に向けての新品種説明会と品質向上のための研修会を開きました。会合には生産者をはじめ

11月中下旬に出荷最盛期を迎えますが、今後、福岡を中心に3月まで約3万ケースの出荷を予定しています。

同椎茸部会では、原木栽培という特長を量販店(販売先)でも消費者に分かってもらえるように出荷資材に「原木栽培の生椎茸」と表示しています。

品種メーカー・取引市場・J A熊本経済連・熊本県職員ら45人が参加しました。新品種説明会では、種苗メーカー6社より新品種についての生育の特性や栽培ポイント等の説明が行われました。

研修会では、取引市場より本年度販売の情勢報告。経済連からは新しい肥料等の紹介。熊本県からは日持ち品質についての詳しい説明が行われました。

取引市場からは「夏秋産のトルコギキョウの生産地は年々減少してきており、阿蘇産のトルコギキョウには非常に期待をしている」との高い評価が寄せられました。

J A阿蘇トルコギキョウ専門部会の白石豊和さんは「阿蘇地域産には消費地からの期待も非常に高い。今後関係機関と密な連携を図り、定期的に研修会等を開催し、生産率と品質向上を目標に市場や消費者の期待に応えたい」と抱負を語っていました。(写真上は品種説明会・研修会の様子)

「自然災害に負けない産地に」
蘇陽総合部会連絡協合同反省会



合同反省会で挨拶をする興枳会長

蘇陽地区における12品目の部会から構成されている蘇陽総合部会連絡協同協議会は11月22日、生産者・J A及び市場関係者ら100人が出席し令和元年度の合同反省会を開きました。

興枳慶護会長は挨拶の中で「毎年のように自然災害に悩まされているが、そのような中でも生産者一人一人の頑張りによつて蘇陽地区の品質が維持出来ている。今後ともさらに良質な品物を出荷していこう」と決意を述べました。当日は興枳会長が受け入れている外国人技能実習生による実習内容の発表も行われました。

ドライブウェイサービスコンテスト県大会「セルフサービス部門」で“敢闘賞”

※写真はいずれも畑本選手競技の様子

第41回ドライブウェイサービスコンテスト熊本県大会が、9月19日グランメッセ熊本で開催されました。本大会は、JA-SSの接客・点検・技術サービスの向上を図るとともに、経営の強化に資する目的で県内各JA-SSより選抜された19人が本大会に臨みました。JA阿蘇からは、阿蘇町SSの畑本哲弥選手が日々の業務での取り組み、さらに練習を積み重ね「セルフサービス部門」に出場しました。競技の結果、セルフサービス部門で“敢闘賞”受賞という大健闘をしました。選手の皆様、お疲れまでした。またJA阿蘇管内の皆様、温かいご声援ありがとうございました。



「JA阿蘇きらり★」



石部 いしべ

拓郎 たくろう



阿蘇町中央支所購買部購買課
グリーンショップやまびこ



★趣味＝スポーツ観戦

★一言コメント

入組して6年目になりました。日頃の業務は店舗での接客や配達等をメインに行っております。いつも元気よく、明るく、スピーディーな対応を心掛けています。これから阿蘇は厳しい寒さがやってきます。暖くなったら好きなゴルフを楽しみに頑張っていきます。



厚生連ニュース

12月



ノロウイルス



ノロウイルスは1年を通して発生しますが、特に12月から2月にかけて多く発生しています。わずかに10・100個のウイルス量で人に感染し、体内に入ると腸管で急激に増殖します。感染力が非常に強いのが特徴です。

発症すると

・嘔吐 ・発熱（38℃以下）
・下痢 ・頭痛 ・腹痛 など
症状が軽い場合は軽い風邪の
ような症状がでます

→ 2・3日で症状は快方へ

乳幼児や高齢者は重症化しやすいため

特に注意が必要です。

症状が治まった後も1・2週間から1ヶ月間も
便からウイルスの排出が続きます。



感染経路

- ①人→食品→人：調理者の手を介して汚染された食品を食べた場合
- ②食品→人：二枚貝などを加熱不十分で食べた場合
- ③人→人：便や嘔吐物を処理した後、手についたウイルスが口に入ってしまった場合

ノロウイルスは主に
カキなどの二枚貝の
内臓部にたまりやす

予防方法

- ①手洗い
- ②食品はしっかり加熱する
特に二枚貝はしっかりと中心部まで加熱調理
(85・90℃で90秒以上)をしましょう。

③調理器具の消毒

・調理台や包丁、まな板、食器類の
洗浄、漂白または熱湯消毒

感染拡大予防対策

ノロウイルスは乾燥すると空气中に舞い上がり、口に入って感染を広げてしまうことがあります。

- ・手袋とマスクを着用
- ・蛇口やドアノブ、手すりなどの消毒

・汚れが残りやすいところ・

- ・指先 ・指の間 ・手のしわ ・手首
- ・親指の周り



最も重要で、効果的な予防方法は、「流水・石けんによる手洗い」です!!

ご不明な点や健康についてのご相談ある際はお気軽に本会までお問い合わせ下さい。



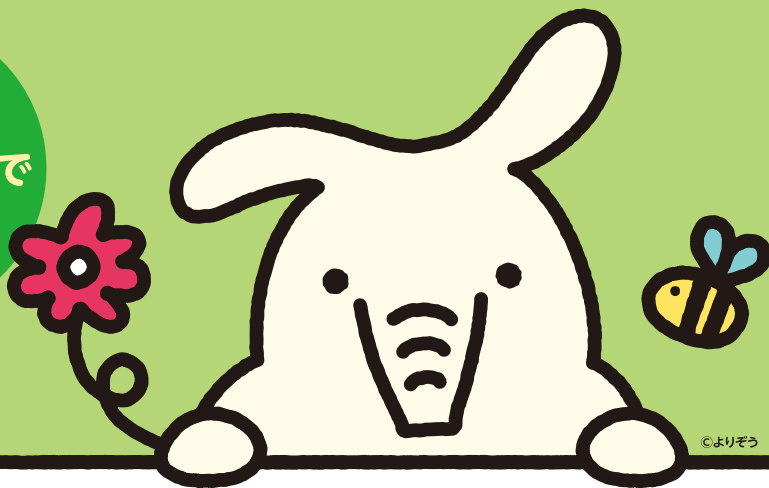
JA熊本厚生連健康管理センター

施設所長
粟津 雄一郎

TEL 096 (328) 1256 FAX 096 (328) 1229

JA CARD

今なら、
新規のご入会で
おトクに!



初年度年会費無料!
(一般カード)

©よりぞう

—— JAカードのご入会とご利用で ——

最大 **6,800** 円
相当の
ポイントプレゼント

JAカード新規ご入会で
もれなく **2,000** 円相当のポイントをプレゼント

対象期間 2019年12月1日(日)~2020年3月31日(火)

上記期間中に新規ご入会(カード発行)の本人会員さま・家族会員さまが対象です。

◎ご入会(カード発行)日は、JAカードお届け時の「カード送付明細」でご確認いただけます(お申込日とは異なります)。



JAカードでのショッピングご利用と携帯電話利用料金のお支払いで
最大 **4,800** 円相当のポイントをプレゼント



合計最大 **6,800** 円相当のポイントに!

◀ ポイントプレゼントの詳細は、13Pをご覧ください。

ご入会・ご利用で最大 **6,800円** 相当のポイントプレゼント

◎ポイントは「JAカード わいわいプレゼント」または「JAカード ゴールドポイントプログラム」でご利用いただけるポイントです。
◎特典の金額はポイントをキャッシュバック商品と交換した場合の金額(1ポイントを4円換算で交換)を記載しています。

JAカード
新規
ご入会で

新規ご入会
特典

もれなく **2,000円** 相当のポイント
(500ポイント)をプレゼント

対象期間 2019年12月1日(日)～2020年3月31日(火)

上記期間中に新規ご入会(カード発行)の本人会員さま・家族会員さまが対象です。

◎ご入会(カード発行)日は、JAカードお届け時の「カード送付明細」でご確認いただけます(お申込日とは異なります)。
詳しくは(<https://www.cr.mufg.jp/ja/6800/>)をご覧ください。

キャンペーン
登録
不要

JAカードの
ご利用で

ご入会后
3カ月の
ショッピング
ご利用で

「ご入会サックスプレゼント」
最大 **4,000円** 相当のポイント
(最大1,000ポイント)をプレゼント

5万円以上ご利用いただくと200ポイント、ご利用金額に応じて最大1,000ポイントをプレゼントいたします。
詳しくは(<https://www.cr.mufg.jp/ja/thanks/>)をご覧ください。

キャンペーン
登録
必要

新たに
携帯電話
利用料金の
お支払いで

もれなく **800円** 相当のポイント
(200ポイント)をプレゼント

◎au、NTTドコモ、ソフトバンク、ワイモバイルが対象

詳しくは(<https://www.cr.mufg.jp/ja/mobile200/>)をご覧ください。

キャンペーン
登録
不要

※プレゼントポイントの加算時期は、各特典によって異なります。

携帯電話利用料金のお支払いでさらにおトク!

ポイントが最大 **1年間2倍!**

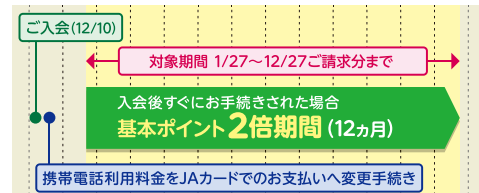
携帯電話利用料金のお支払いがあったご請求月のわいわいプレゼントの基本ポイントが2倍になります。お支払い開始が早いほどおトクです。

【ポイント2倍対象期間】 本人会員さまのご入会月から
最大12か月後(1年間)のご請求分まで

※JAゴールドカードは対象外です。

〈12月10日にご入会いただいた方の例〉

12/1 1/1 2/1 3/1 4/1 5/1 6/1 7/1 8/1 9/1 10/1 11/1 12/1 1/1



さらにJAカードはおトクが満載!

JA-SS、ホクレンSSでの給油
(ハイオクガソリン、
レギュラーガソリン、
軽油)

でご請求時に

2円/ℓ

割引!*

(1ℓ未満切り捨て)



JA直売所・
ファーマーズマーケット
でのご利用で
ご請求時に

5%

割引!*



キャッシュレス・
消費者還元制度の
対象店舗では
2%または5%
ポイント還元

〔対象期間〕
2019年10月～
2020年6月(予定)



初年度年会費無料

ご利用条件を満たすと
次年度以降の年会費も無料に。
※JAゴールドカードは対象外です。

* Apple Payでのお支払いは、割引対象外です。

※一部、対象外の店舗、商品・サービスがあります。詳しくはご利用時に各店舗にてご確認ください。

※本紙掲載の特典は2019年11月現在のものであり、予告なく内容を変更または終了する場合があります。

※JAビジネスカード、JAコーポレートカード、JCBブランドのJAカードは、本紙掲載特典の対象外です。

お申込み・各種サービスについては、お近くのJA窓口、職員までお気軽に。

JAバンク
三菱UFJニコス株式会社

各種特典、サービスの詳細はWEBサイトにてご確認ください。



三菱UFJニコス JAカードWEBサイト

<https://www.cr.mufg.jp/ja>



理事会・監事会報告

■令和元年度第9回理事会

日時 令和元年10月29日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
 - 委員会報告(金融・共済専門委員会、総務専門委員会)
 - 令和元年度上半期決算実績報告について
 - 1)「健康情報等の取扱規程」の制定について(案)
 - 2)出資金減口(差押え)について
 - 3)貸出金について
 - 4)令和元年度下期 余裕金運用計画について(案)

報告事項

- 1)JA阿蘇コンプライアンス・プログラムの進捗状況(令和元年9月末)について
- 2)不祥事未然防止の為の行動計画(令和元年9月末)進捗状況について
- 3)JA阿蘇活動総合3ヶ年計画(令和元年9月末)進捗状況について
- 4)不祥事再発防止策取組状況報告(令和元年8月、9月)について
- 5)事務ミス等の発生状況について(半期報告)
- 6)県域ローンセンター媒介業務実績報告(令和元年上期)について
- 7)顧客属性照会システム(CCS)定期確認報告(令和元年上期)について
- 8)マネロン・反社等への対応状況(7月～9月)について
- 9)ATM利用状況について(9月末)
- 10)令和元年度上期理事会付議貸出金実行報告について
- 11)令和元年度組合員の加入及び脱退の状況について
- 12)内部監査実施状況報告書(令和元年7月～9月)について
- 13)JA-SS県下一斉キャンペーン実施について
- 14)令和元年産米集荷実績(9月末)について
- 15)令和元年度余裕金運用状況(9月末)について

4. 閉会

■令和元年度第10回理事会

日時 令和元年11月27日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
 - 委員会報告(経済専門委員会)
 - 10月末実績について
 - 1)生活応援キャンペーン(JAマイカーローン・JA教育ローン)の実施に伴うキャンペーン金利の設定について(案)
 - 2)JA阿蘇南部地区金融店舗再編及びATM再編について(案)
 - 3)貸出金について(2件)
 - 4)令和2年度特別栽培米肥料農薬基準変更(案)について
 - 5)職員定年延長に伴う規程類の改正(案)について
 - 6)職員年末賞与支給について

報告事項

- 1) 令和元年度JA共済コンプライアンス点検結果について
- 2) 秋冬農機・車輛展示会開催について
- 3) 令和元年度JA阿蘇総合展示会実績について
- 4) 予約肥料価格のメリットについて
- 5) 令和元年産米集荷実績(10月末)について
- 6) 不祥事再発防止策取組状況報告(令和元年10月)について →

- 7) 菊池労働基準監督署による是正勧告について
4. 閉会

●令和元年度第8回監事会

日時 令和元年10月23日午前10時30分

場所 本所2階第1会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
 - 1) 令和元年度上期決算棚卸監査取りまとめ事項について
 - 2) 令和元年度上期決算監査事務手続きについて

報告事項

- ①常勤監事業務報告について
- ②常勤会議等報告について
- ③内部監査実施状況報告について(7月～9月)
- ④行事予定について
- ⑤その他

4. 閉会

●令和元年度第9回監事会

日時 令和元年11月8日午前10時30分

場所 本所2階第2会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
 - 1) 令和元年度上期決算監事監査取りまとめについて
4. 閉会

●令和元年度第10回監事会

日時 令和元年11月27日午後3時00分

場所 本所2階第1会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
 - 1) 令和元年度上期決算監事監査報告書(案)について
 - 2) 令和元年度導入家畜等棚卸監査実施要領(案)について

報告事項

- ①常勤監事業務報告について
- ②常勤会議等報告について
- ③行事予定について
- ④その他

4. 閉会



JA阿蘇 イラスト違い探し『初日の出』

(出題:イラストレーター みやたみゆき)

左右2枚のイラストには、違っているところが5か所あります。探してみてください!



※答えは次号の「JAあそだより」に掲載

イラスト違い探し

『初日の出』 正解者プレゼント!

イラスト違い探し「初日の出」5か所の違いを、官製はがきに書いて応募してください。正解者の中から抽選で4名様に写真の商品をプレゼントします。締め切りは1月15日(当日消印有効)です。



※当選者は次号の「JAあそだより」に掲載します。

ハガキ (表)

郵便はがき

63

8 6 9 2 6 1 2

JA阿蘇 総務部

「JAあそだより」係

阿蘇市一の宮町宮地387-5

ハガキ (裏)

●イラスト違いの答え

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

●郵便番号

●住所(番地までご記入ください)

●氏名

●年齢

●ご意見・ご要望

(内容によっては誌面で取り上げさせていただきます)

●その他

ASO 出合い応援交流会 vol.4

ichigo ichie ♡

参加者(男性10名)
お土産プレゼント！

いちご
出合い

いちご狩り&
ランチde交流
START
10:00～



あか牛ハンバーグ♪

男性10
×
女性10

2020 2/1 土

@ 阿蘇市
はな阿蘇美

日時 2020年2月1日(土) 10:00～13:30(予定)

場所 はな阿蘇美(阿蘇市小里781)

対象 20歳～40歳の独身男女各10名 ※男性は阿蘇郡市在住者に限る

参加費 2,500円

内容 いちご狩り&ランチ

申込み 阿蘇市社会福祉協議会(担当:佐藤)
Tel: **0967-32-1127**(受付時間8:30～17:00)
受付期間:2020年1月6日(月)～

送迎バスあり(要予約)

8:30 光の森駅前

9:00 大津道の駅

9:30 はな阿蘇美

■主催:阿蘇市社会福祉協議会

■協力:阿蘇青年会議所・JA阿蘇青壮年部・実行委員会CLOVER